

地域ボランティアプログラム② みなみおおさまカフェプログラム

「南大沢市民センターまつり」 出張カフェ

2018/09/29



9月29日（土）、南大沢市民センターにて、「市民センターまつり」が開催され、そこで出張みなみおおさまカフェの活動を行いました。本プログラムからは2名の学生が参加しました。

市民センターまつりは、地域の方々が普段行っておられる文化・芸術活動を展示したり、披露するなど、総合的な発信をされている地域の文化祭のようなイベントでした。陶

芸や絵画、木工品などの展示や、琴や詩吟、朗読などの披露がありました。

その一環として、本プログラムの学生たちも「高齢者あんしん相談センター南大沢（八王子市地域包括支援センター南大沢）」の方々と一緒に、みなみおおさまカフェの運営を行いました。前回の「オトパ」に続いて、2回目の出張カフェとなりましたが、出張カフェでは、みなみおおさまカフェのことを知らない方など、首都大で待っているだけではお会いできない方と会えることが醍醐味です。お友達の朗読を聞きに来られたり、ご自身の作品を出展されている方など、偶然、通りかかった方が部屋の中に入ってください、お茶やジュースを飲みながら、お話ししました。定期的にみなみおおさまカフェを首都大で開催していることを学生が説明すると、今度、定例カフェにも来てくださると言ってくださった方もいました。

また、首都大での定例カフェにいつも来てくださっているお馴染みの方も越えさせていただきました。新しい方に会えた喜びと常連の方がいる喜びの両方を感じることができる場となりました。

今後も定例カフェと出張カフェの両方で、多くの地域の方々に関わり、地域の居場所となるように、みなみおおさまカフェの運営を行っていきます。

～参加した学生の感想～

すごくパワーをもらえる方々とお話しできました。私が話したことから、その方が若い頃を思い出し、微笑む姿も印象的でしたし、自分から話が広がっていく感覚、会話を楽しめました。

交流というのは、やはり一方通行ではいけないと思います。双方向の関わり方、どちらかがお客様になるのではなく、対等な関係だからこそ楽しめると思いました。

ご自身の息子さん、娘さんの話をすごく笑顔で話してくださる方もとても印象的でした。就活頑張るのよ、と応援してもらえました。思い出すだけで頬が緩むくらい楽しかったです。

